

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● (株)セブン&アイHLDGS. 全体の「環境指針」、当社の「CSR基本方針」に記されているとおり、「環境への配慮」は企業の社会的責任と認識しており、地球温暖化防止の1つとしてCO2排出量の削減等、環境保全に取り組んでいる。● 近年、Scope3を含めたCO2排出量の開示、削減が求められており、それに対応していくため算定を実施。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● CDPや日経等の外部調査への情報開示及びホームページを通じて、必要な情報をステークホルダーの皆さまに伝える。
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーンでの温室効果ガス排出量の把握。● 外部調査への対応。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 関係部署よりデータを収集し、担当部門(CSR・広報室)が算定。

	各社の考え方
<input type="checkbox"/> サプライチェーン 排出量の削減に 向けて	<ul style="list-style-type: none">● 今回習得した算定方法にて、継続的にサプライチェーン排出量の把握を行うとともに、算定カテゴリを拡大し、適切な対応を検討していく。
<input type="checkbox"/> サプライチェーン 排出量算定の課 題	<ul style="list-style-type: none">● データ収集、算定の効率化。
<input type="checkbox"/> その他(任意)	

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・資材の調達量	● 購入金額当たり原単位
カテゴリ2「資本財」	● —	● —
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気のエネルギー使用量	● エネルギー量あたり原単位
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	● 輸送に係る燃料使用量	● エネルギー量あたり原単位
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物量あたり原単位
カテゴリ6「出張」	● 従業員数	● 従業員数あたり原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 従業員数	● 従業員数あたり原単位
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● データセンターの電力量	● エネルギー量あたり原単位
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● —	● —
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● —	● —
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● —	● —
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物量あたり原単位
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● ATMの電気使用量	● エネルギー量あたり原単位
カテゴリ14「フランチャイズ」	● —	● —
カテゴリ15「投資」	● —	● —
「その他」	● —	● —

算定結果

□ 算定結果

